

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.195

2016/02/12

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

ユキバタツバキ5,000株タグ付け完了 残るは4,000株



残雪の中タグ付けに励む会員(16/02/07)



昨年から実施しているユキバタツバキの全株タグ付け作業が進んでいます。推定 9,000 株に全て調査用タグを付けようという壮大な作業です。ヤブツバキとユキツバキの中間雑種であるため、1 株毎に性質（色・花卉数・花糸・樹形等々）が異なっています。この性質の特性を把握するため全株の調査を行おうというもくろみです。2/7 作業で 5,000 株にタグを付け終わりました。3 月中旬頃からが本格的な開花になります。開花シーズン（3 月～ 5 月）に合わせて全株調査を行いたいと考えています。そのためには 3 月初旬までに残りの 4,000 株にタグを付け終わる必要があります。降雪が無い限りこの作業を優先的に実施する予定です。ほぼ毎日作業を行っていますので、都合のつく会員はご協力ください。



開花中の花色

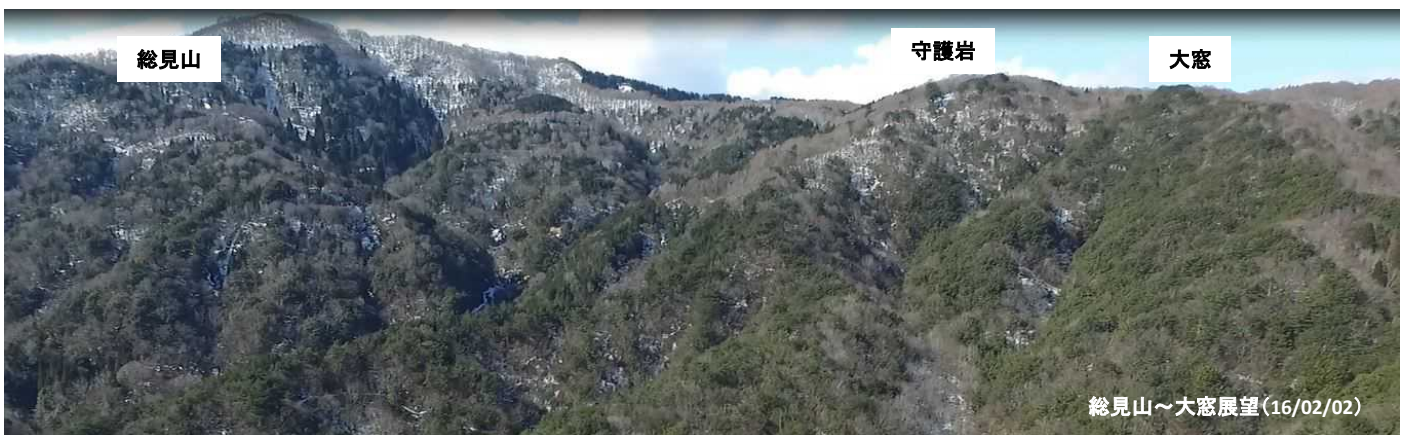


ヒノキ林の枝打ちも進んでいます

沢道と尾根道間の斜面

第2分岐付近

昨年末から再開しているヒノキ植林地の枝打ちも順調に進んでいます。今年に入って主に楽舎から天然更新試験地までの尾根道沿いの作業を進めています。日頃来訪者をガイドしていて枝打ちがされていないため、コースから不細工なヒノキの姿が見え、弁解に四苦八苦の状態でしたが、これで多少保全活動をしていますと言えそうです。もっともこのような作業は、本会の主たる活動目的ではありませんが、放置することは先人の汗を無にすることになり、いたたまれず実施しています。まあそれにしてもやらねばならない作業の多さに、何から手を付ければ効率的なのか・・・でも手を加えれば加えるだけ自然は応えてくれます。きっと将来は!!



撮影データは「やまかど・森の楽舎」にあります。活用してください。